2022年6月20日

会員、会誌購読者　各位

　公益社団法人 日本技術士会中国本部

本部長　大田一夫

化学/繊維/金属部会長　焼本数利

**中国本部 化学／繊維／金属部会主催　2022年度ハイブリッド講演会のご案内**

**地球環境の再生と、公共の安全の確保に向けて**

**－「海洋生分解性プラスチックの研究開発」と「経済安全保障」－**

拝啓 時下ますますご清祥の由お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当部会では、「**海洋生分解性プラスチック」**及び「**経済安全保障｣**に関する講演会を開催致します。

海洋プラスチックごみによる汚染の削減と、カーボンニュートラルの実現に向けて、海洋生分解性プラスチック及び再生可能なバイオマスプラスチックに高い期待が寄せられています。そこで、大型研究プロジェクト「ムーンショット型研究開発制度」のプロジェクトマネージャーを務められ、海洋生分解性プラスチックの研究開発をリードされている、群馬大学粕谷健一教授にご講演をお願い致しました。

国際情勢が複雑化する中、経済安全保障への関心が益々高まっております。５月には「経済安全保障

推進法」が成立し、重要物資の安定供給、基幹インフラの安全確保、先端重要技術の開発支援及び秘密特許制度が推進されております。今回は、インテリジェンス機関として技術・データ・製品等流出の未然防止に取り組む公安調査庁より、中国公安調査局　調査第二部長にご講演いただきます。

講演会は、WEB会議Microsoft Teamsを用いてご自宅やオフィスにて聴講を頂くオンライン形式と、広島のコンファレンススクエアーにて対面又はWEB中継で行う講演とを併用したハイブリッド形式です。申込みは下記URLにてお願いします（期限7月26日、定員：オンライン150名、会場30名）。

<https://forms.gle/6s2HFjAAUoG7uQzG7>

敬具

― 記 ―

**１．主　催**　中国本部化学／繊維／金属部会

**２．日　時**　**2022年7月30日（土） 13：00 ～16：00**

**３．講演会プログラム**

|  |  |
| --- | --- |
| 時　間 | 講演会次第　司会進行　 　化学/繊維/金属部会 副部会長 　　 寺阪　冬樹 |
| 13：00～13：10 | 開会の挨拶　　　　　　　 化学/繊維/金属部会 部会長　　　 焼本　数利　 　 |
| 13：10～13：20 | オンライン講演会の留意事項説明　化学/繊維/金属部会 副部会長 古森　龍一　 |
| 13：20～14：30 | 【講演１】「今、海洋で起っているプラごみ問題と海洋生分解性プラスチックの開発」講演60分、質疑応答10分講演者　群馬大学　学長特別補佐群馬大学大学院理工学府 分子科学部門　環境調和型材料科学研究室群馬大学食健康科学教育研究センター センター長教授　粕谷　健一　殿（大学にて講演、広島会場又はオンラインで聴講） |
| 14：40～15：50 | 【講演２】「経済安全保障の確保に向けて」　講演60分、質疑応答10分（広島会場にて講演、対面又はオンラインで聴講）講演者 中国公安調査局　調査第二部長　殿　 |
| 15：50～16：00 | 閉会の挨拶 　　　　　　　　化学/繊維/金属部会 副部会長 　　 　伊藤　由実  |

**４．対象、参加費、ＣＰＤ**

1. 対　象 ・日本技術士会会員（正会員、準会員、協賛会員）、中国本部会誌購読者

・連携協定校（広島工業大、岡山理科大、宇部高専、呉高専、徳山高専、津山高専、松江高専）

・上記以外の非会員は、受け付けておりません。

1. 参加費 ・日本技術士会正会員・準会員 ： 500円

　　　 ・協賛会員、会誌購読者 　 ： 1,000円 但し、500円の割引券が利用できます。

 ・連携協定校（ 教職員、学生） ： 　無料

参加費の支払いは、チケットサイトからお願いします（別途ご案内）。

（3）ＣＰＤ時間 日本技術士会から、3時間のＣＰＤ行事参加票を発行します（アンケートに添付）。

**５．お問い合わせ先****（広島会場）**

〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20第3ウエノヤビル6階　日本技術士会 中国本部事務局 勝田

TEL 082-511-0305　FAX：082-511-0309 E-mail:ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp

**６．オンライン講演（WEB会議）の実施方法**（詳細は、別途ご連絡致します。）

**6.1　所要環境**

(1) 使用する接続ソフト：Microsoft Teams（参加者の皆様は、アカウントは不要です）

　　(2) マイクとスピーカを備えたパソコン。通信環境：通信速度5～10Mbps以上。

**6.2　接続手順**

(1)　Teams接続による音声・映像の事前確認

① 講演会当日の**2022/7/30（土）は9:00～12:00**の間に、Teams接続用の招待メールを講演者各位、参加者各位にお送りします（申込時に入力の「招待メールの受取先」にお送りします）。

② 音声・画像の事前確認及び講演会は、本招待メールを用いてご参加下さい。

③ Teamsの経験が少ない方のために、**2022/7/24（日）13：00～16：00に**招待メールをお送りします。希望される方は本メールを用いてTeamsを接続し音声・画像をご確認下さい。　 　以　上

**中国本部化学／繊維／金属部会主催**

**2022年度ハイブリッド講演会**

地球環境の再生と、公共の安全の確保に向けて

**－「海洋生分解性プラスチックの研究開発」と「経済安全保障」－**

**講演要旨**

**【講演１】**

**（１）****講演タイトル**

**「今、海洋で起っているプラごみ問題と海洋生分解性プラスチックの開発」**

**（２）講演者所属・氏名**

**群馬大学　学長特別補佐**

**群馬大学大学院理工学府 分子科学部門　環境調和型材料科学研究室**

**群馬大学食健康科学教育研究センター センター長**

**教授　粕谷　健一　氏**

**（３）講演要旨**

**プラスチックは私たちの生活の利便性を上げ、これを豊かにしてきました。一方で、安定なため分解せず海洋での滞留が海ゴミとして大きな問題となっています。本講演では、海洋環境におけるゴミ問題の現状を解説し、その問題点を述べます。また、現在、ムーンショットプロジェクトとして取り組んでいる「海洋生分解性プラスチックの開発」について、コンセプトと成果の一部について紹介します。**

**【講演２】**

**（１）講演タイトル**

**「経済安全保障の確保に向けて」**

**（２）講演者所属・氏名**

**中国公安調査局　調査第二部長**

**（３）講演要旨**

**国際社会において、国家安全保障を確保するために経済上の手段を用いる動きが先鋭化しています。このような中、機微な技術やデータ等の獲得を企図して、一見して正常な経済活動・学術活動を装って標的となる企業・大学等に接近するケースが発生しているほか、多岐にわたる流出経路も見受けられます。本講演では、国内外で実際に発生した技術やデータ等の流出事案や、これを防止するために注意すべき点について紹介します。**

**・関連：**<https://www.moj.go.jp/psia/keizaianpo.top.html>

**（公安調査庁経済安全保障特集ページ）**

以上

|  |
| --- |
| **化学／繊維／金属部会 ２０２２年ハイブリッド講演会****参加申込書(７月２６日締切)****主催：公益社団法人日本技術士会中国本部****申込ＦＡＸ番号：０８２－５１１－０３０９****※メール送信可能な方は、事務局の省力化のため、メールによる申込みをお願いします。** |

**標記講演会に参加します。**

**参加会場****：　□広島会場　　□自宅・勤務先等（オンライン）**

(下記に■ [または☑] ください)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 資格(注1) | 区分(注2) |
| 申込者 |  | □技術士 □修習技術者□その他 | □会員・準会員□協賛会員□会誌購読者□連携協定校 |
| 技術部門(注3)※複数選択可 | □機械　□船舶･海洋　□航空･宇宙　□電気電子　□化学　□繊維　□金属□資源工学　□建設　□上下水道　□衛生工学　□農業　□森林　□水産□経営工学　□情報工学　□応用理学　□生物工学　□環境　□原子力･放射線□総合技術監理 |
| 居住県名 | □広島県 □岡山県 □山口県 □鳥取県 □島根県 □その他（県名　　　 ） |
| 勤務先 |  |
| 連絡先 | E-mail  |  | □会社　□自宅 |
| ＦＡＸ |  | □会社　□自宅 |
| ＴＥＬ |  | □会社　□自宅 |

1. 資格は該当するものに■(または☑)を入れる。
2. 区分で会員とは日本技術士会会員を指し、

該当するものに■(または☑)を入れる。

1. 技術部門は技術士か修習技術者のみ、

該当するものに■(または☑)を入れる。

1. 連絡先は(会社・自宅)のうち該当するものに

■(または☑)を記入し、E-mail等を記載。

1. 本個人情報は、本行事の参加申込み以外には

使用しません。

問合せ先：〒730-0017　広島市中区鉄砲町1-20

第3ウエノヤビル6階

公益社団法人日本技術士会 中国本部

TEL:082-511-0305　FAX:082-511-0309

E-mail：ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp

以上